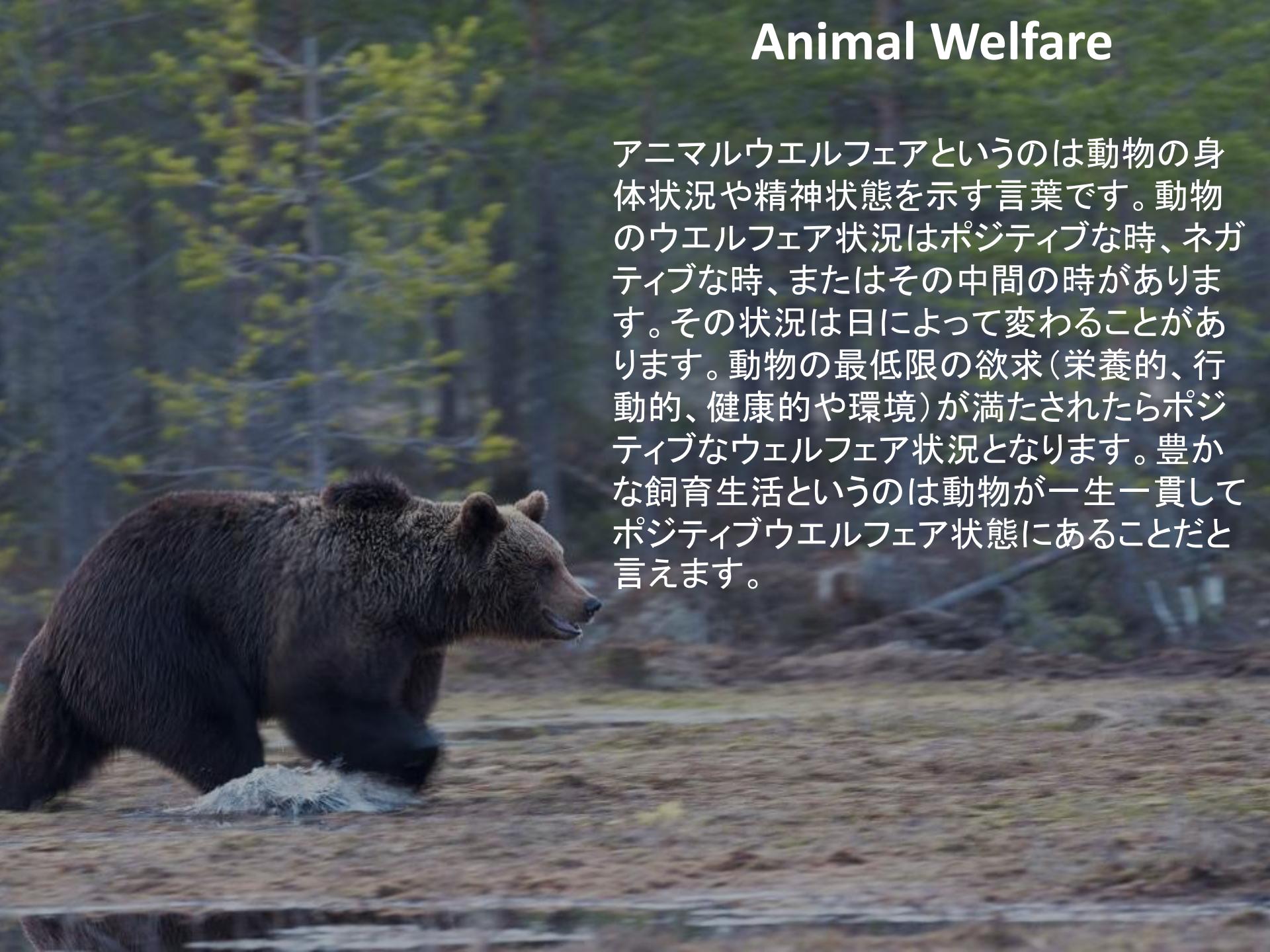




世話してください
ヒグマ (*Ursus arctos*)

Animal Welfare

A large brown bear is shown in profile, walking through shallow, rocky water. The bear's dark fur is wet, and it appears to be moving towards the right side of the frame. The background is a blurred forest with green and yellow foliage, suggesting a natural habitat like a riverbank or stream bed.

アニマルウエルフェアというのは動物の身体状況や精神状態を示す言葉です。動物のウエルフェア状況はポジティブな時、ネガティブな時、またはその中間の時があります。その状況は日によって変わることがあります。動物の最低限の欲求(栄養的、行動的、健康的や環境)が満たされたらポジティブなウエルフェア状況となります。豊かな飼育生活というのは動物が一生一貫してポジティブウエルフェア状態にあることだと言えます。



ポジティブなウエルフェアを作るには、動物が痛みを感じるような感覚的認知的な能力を持っていることを理解し、充実な飼育施設を設けることが必要です。そのような飼育施設は、動物に与えられた環境、日頃のケアと医療にかかっています。

ヒグマはヨーロッパからアジアにかけて又北アメリカ大陸の山や森林に幅広く生息しています。現存するクマ属の中では最も広く分布すしています。亜種もたくさん存在し、その中でもっとも大きいヒグマはコディアク諸島に生息しています。ヒグマの生息範囲が大幅に減ったもののIUCN(国際自然保護連合)によるとヒグマの保全状況はまだ低リスクで判断されています。

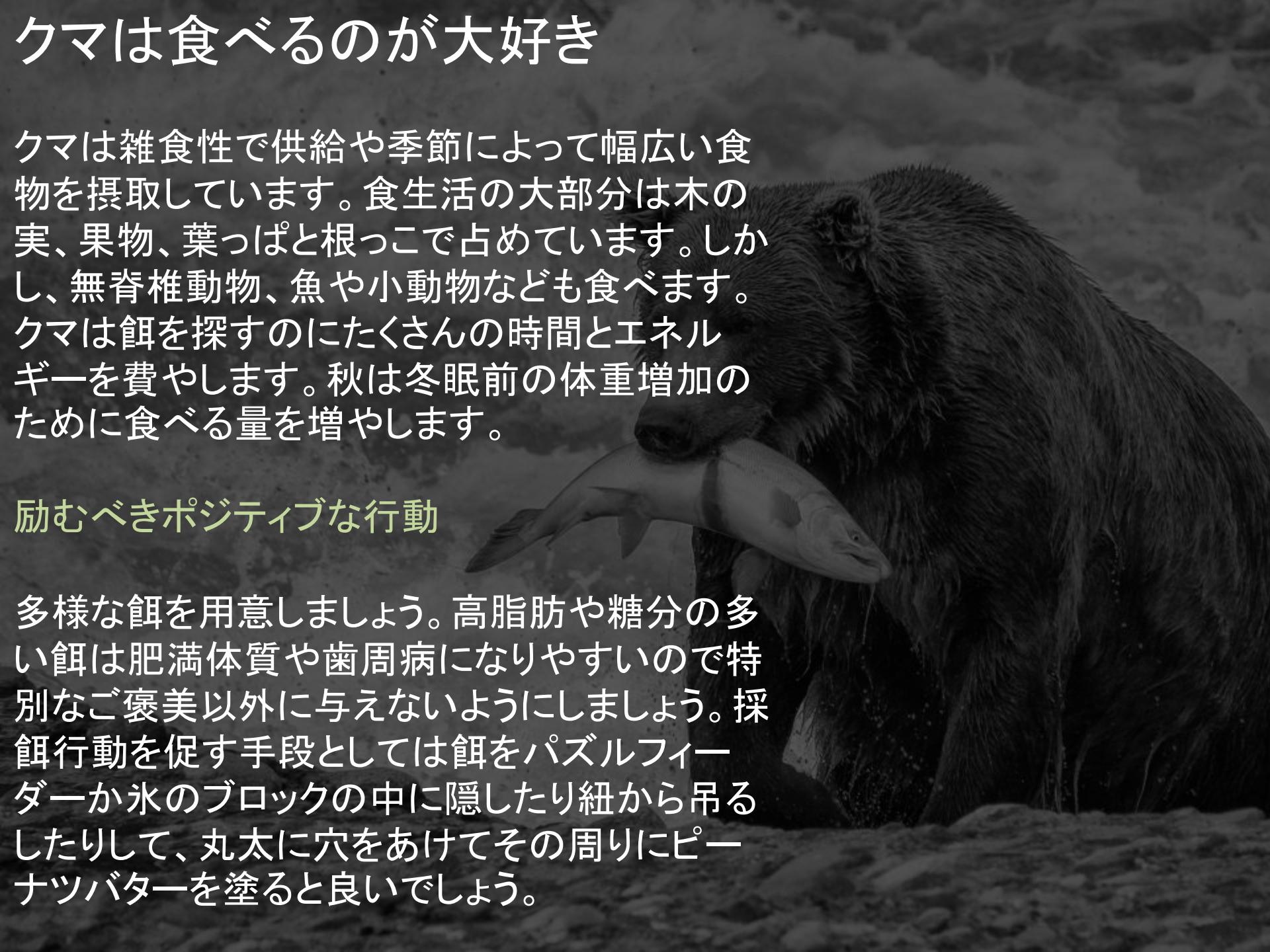


クマは食べるのが大好き

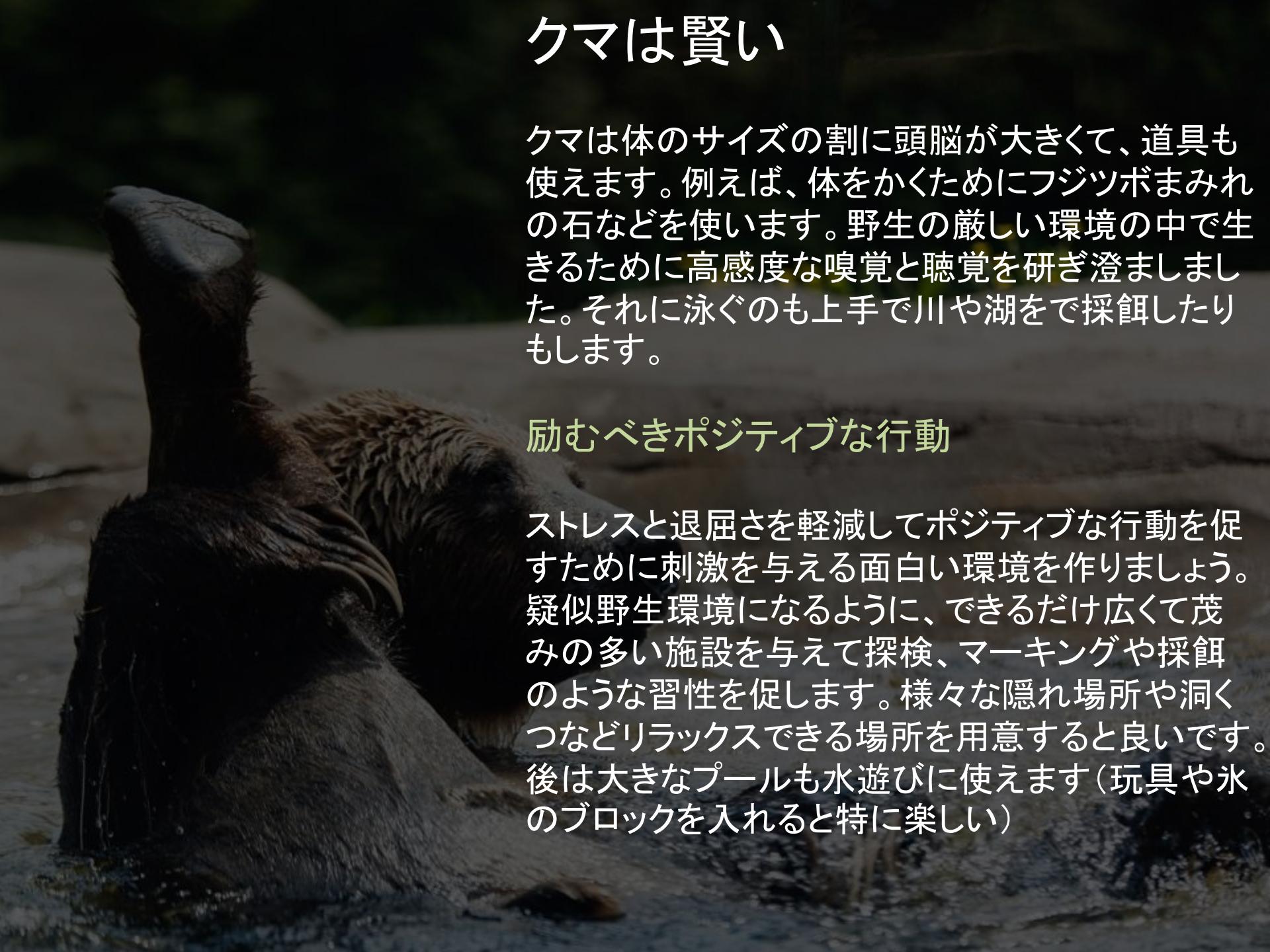
クマは雑食性で供給や季節によって幅広い食物を摂取しています。食生活の大部分は木の実、果物、葉っぱと根っこで占めています。しかし、無脊椎動物、魚や小動物なども食べます。クマは餌を探すのにたくさんの時間とエネルギーを費やします。秋は冬眠前の体重増加のために食べる量を増やします。

励むべきポジティブな行動

多様な餌を用意しましょう。高脂肪や糖分の多い餌は肥満体质や歯周病になりやすいので特別なご褒美以外に与えないようにしましょう。採餌行動を促す手段としては餌をパズルフィーダーか氷のブロックの中に隠したり紐から吊るしたりして、丸太に穴をあけてその周りにピーナツバターを塗ると良いでしょう。



クマは賢い



クマは体のサイズの割に頭脳が大きくて、道具も使えます。例えば、体をかくためにフジツボまみれの石などを使います。野生の厳しい環境の中で生きるために高感度な嗅覚と聴覚を研ぎ澄ました。それに泳ぐのも上手で川や湖をで採餌したりもします。

励むべきポジティブな行動

ストレスと退屈さを軽減してポジティブな行動を促すために刺激を与える面白い環境を作りましょう。疑似野生環境になるように、できるだけ広くて茂みの多い施設を与えて探検、マーキングや採餌のような習性を促します。様々な隠れ場所や洞くつなどリラックスできる場所を用意すると良いです。後は大きなプールも水遊びに使えます(玩具や氷のブロックを入れると特に楽しい)

クマは長距離を移動する

クマの行動圏は非常に広い。クマの居場所や性別などのような要因によってその範囲が77平方マイルから3000平方マイルまで及びます。巨大な体にかかわらず、クマは足が速く、特に驚いたときや子供を守っているときに高速で走れます。

励むべきポジティブな行動

野生クマの自然な習性(歩くこと、登ること、走ること、マーキング行動など)を示せるように、広くて面白い施設を工夫しなければなりません。施設では同じ放飼場で暮らすことは可能ですが、窮屈になるとストレスと攻撃的な行動を生じかねません。自分のテリトリーとして使える、歩き回れるような広くて自然なエリアを確保しなければなりません。

クマは強い

クマは強い肩と脚の筋肉の持ち主で、爪はとても大きいです。掘るのが上手で根っこを掘り出して丸太を破ることもできます。巣穴を作るのに、硬い地面を削って重い石や丸太などを運びます。マーキングをするときに後ろ足で立って木に体をこすりつけます。

励むべきポジティブな行動

筋肉維持のために穴掘りが自由にできるようたくさんの腐った丸太と深い土を用意しましょう。マーキングと登ることを促すために段差のある踏台と木を与えろと良いでしょう。ストレスや攻撃性を軽減、できることたくさん用意しましょう。

熊は活発

熊が活発になる時間帯は、朝方と夕方の時間帯ですが、それ以外にも動くことがあります。決定していません。

活動時間の大部分は採餌活動とテリトリー内を歩き回ることで費やします。遊ぶのも大好きで、雪山で転がって遊んでいる大人の熊も見られます。

励むべきポジティブな行動

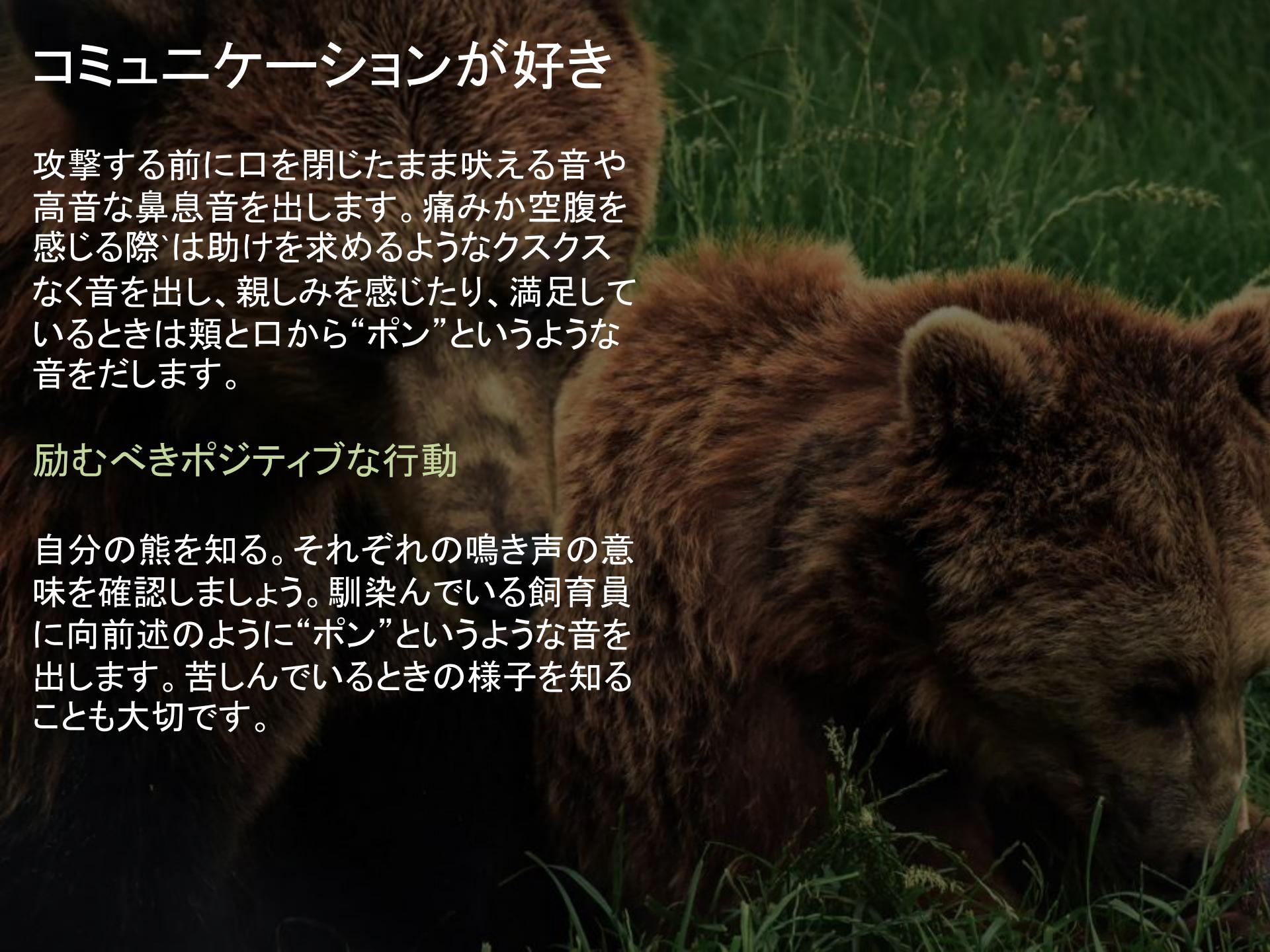
昼夜を問わず、いつでも自由に遊べる刺激的な放飼場を用意しましょう。プール、木、岩、柔らかい土、起伏地などを用意すると泳ぐ、掘る、登る、遊ぶ、マーキング行為を促すでしょう。夜間室内で気持ちよく休めるようにパズルフィーダー、柔らかい寝床、踏台、アースハンモックなどを与えましょう。

コミュニケーションが好き

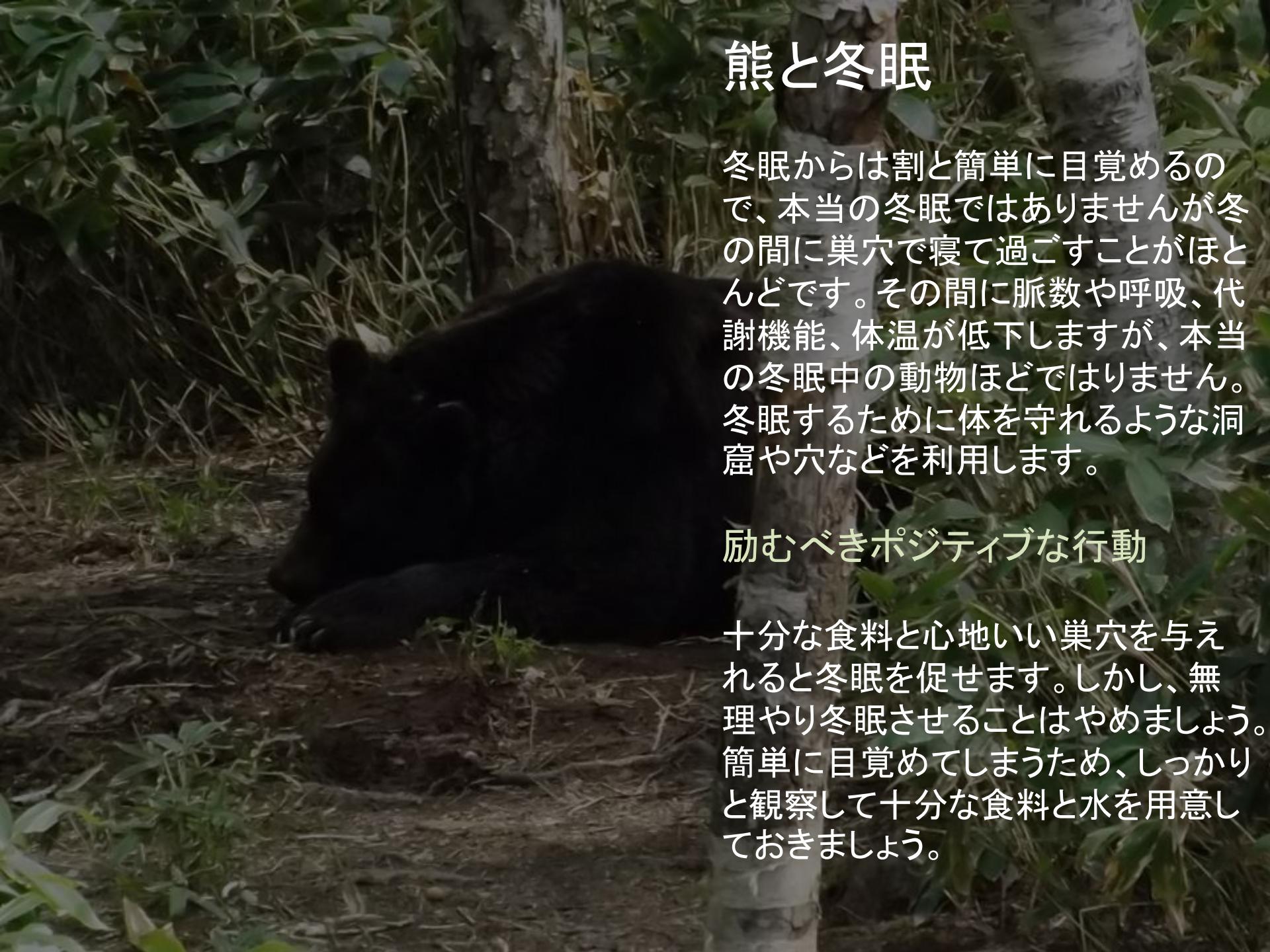
攻撃する前に口を閉じたまま吠える音や高音な鼻息音を出します。痛みか空腹を感じる際は助けを求めるようなクスクスなく音を出し、親しみを感じたり、満足しているときは頬と口から“ポン”というような音をだします。

励むべきポジティブな行動

自分の熊を知る。それぞれの鳴き声の意味を確認しましょう。馴染んでいる飼育員に向前述のように“ポン”というような音を出します。苦しんでいるときの様子を知ることも大切です。



熊と冬眠

A black bear is shown sleeping peacefully in a dense forest. It is curled up in a dark, shaded area, possibly a hollow log or a pile of fallen leaves. The surrounding environment is filled with green foliage and trees, creating a natural and serene setting.

冬眠からは割と簡単に目覚めるので、本当の冬眠ではありませんが冬の間に巣穴で寝て過ごすことがほとんどです。その間に脈数や呼吸、代謝機能、体温が低下しますが、本当の冬眠中の動物ほどではありません。冬眠するために体を守れるような洞窟や穴などを利用します。

励むべきポジティブな行動

十分な食料と心地いい巣穴を与えると冬眠を促せます。しかし、無理やり冬眠させることはやめましょう。簡単に目覚めてしまうため、しっかりと観察して十分な食料と水を用意しておきましょう。

単独行動

野生の母グマと子グマを除いて、だいたいのクマは単独行動します。まれに餌が豊富な地帯で群がることがあります（魚が多いところなど）。

励むべきポジティブな行動

普通で自然な行為ができるように広い放飼場を与えることが非常に大切です。窮屈過ぎるエリアに入れると、攻撃性や常同症などのネガティブな行動が現れます。餌と遊具で喧嘩が生まれやすいので、全頭が使えるように十分な量を用意しましょう。



子守します

母グマは妊娠している間巣穴で安静にし、冬の間に出産します(だいたい双子)。子熊が母親と一緒に過ごす期間はおよそ4年間になります。採餌活動や狩り、生き残るために必要なスキルを母から学びます。

励むべきポジティブな行動

できるだけ子熊に接しないようにして、幼いうちに母親から必要なスキルを取得させましょう。このようにして、成長しても自然でポジティブな行動が続くように促しましょう。



熊の好きなこと....

探検できるような広いスペース。掘って餌を探して上に寝れるような柔らかい土。登れるような木。素晴らしい嗅覚を使って他の熊の匂いを嗅ぐ。幸せな飼育生活をおくれるように、つねに自然な行動を引き出せる努力をすることが大切です。

